

平成30年度

# 全国学力・学習状況調査報告書

当別町教育委員会

# 目 次

I 調査について	1
II 小学校の分析	2
1) 学力調査	
2) 学習状況調査（生活習慣・学習環境等）	
3) 全国平均正答率との差の推移グラフ	
III 中学校の分析	10
1) 学力調査	
2) 学習状況調査（生活習慣・学習環境等）	
3) 全国平均正答率との差の推移グラフ	
IV 当別町学力向上プラン	19

# I 調査について

## 1 目的

- (1) 義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- (3) 以上のような取り組みを通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

## 2 対象学年

- (1) 小学校 第6学年
- (2) 中学校 第3学年

## 3 内容

### (1) 教科に関する調査（国語、算数・数学）

【国語A、算数・数学A】	【国語B、算数・数学B】
<ul style="list-style-type: none"><li>・主として「知識」に関する問題</li><li>・身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容</li><li>・実生活において不可欠であり、常に活用できるようにになっていることが望ましい知識、技能など</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・主として「活用」に関する問題</li><li>・知識、技能等を実生活の様々な場面に活用する力などにかかわる内容</li><li>・様々な課題解決のために構想を立てて実践し、評価・改善する力などにかかわる内容</li></ul>

### (2) 生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査

児童生徒に対する調査	学校に対する調査
学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査	指導方法に関する取組や人的・物的な教育条件の整備状況に関する調査

## 4 期日

平成30年4月17日（火）

## 5 実施した学校及び児童生徒数

	対象学校数	対象児童生徒数	参加児童生徒数	参加率
小学校	2	115人	114人	99.1%
中学校	2	130人	118人	90.8%
合計	4	245人	232人	94.7%

※ 参加児童生徒数は、対象となる児童生徒数のうち、当日体調不良等により参加できなかった児童生徒を除いた人数

## Ⅱ 小学校の分析

### 1) 学力調査

#### 1 教科ごとの平均正答率と平均正答数

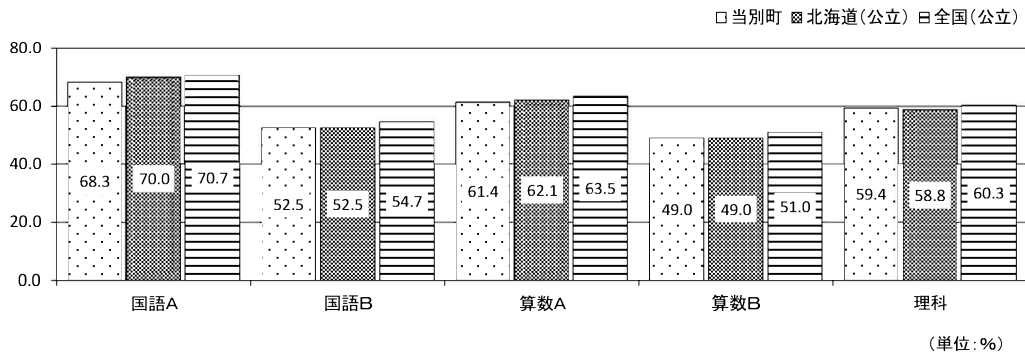
※理科の差は平成27年度実績との比較

	国語A		国語B		算数A		算数B		理科	
	平均正答率 (%)	平均正答数 / 問題数	平均正答率 (%)	平均正答数 / 問題数	平均正答率 (%)	平均正答数 / 問題数	平均正答率 (%)	平均正答数 / 問題数	平均正答率 (%)	平均正答数 / 問題数
当別町	68.3	(8.2/12)	52.5	(4.2/8)	61.4	(8.6/14)	49.0	(4.9/10)	59.4	(9.5/16)
北海道(公立)	70.0	(8.4/12)	52.5	(4.2/8)	62.1	(8.7/14)	49.0	(4.9/10)	58.8	(9.4/16)
全国(公立)	70.7	(8.5/12)	54.7	(4.4/8)	63.5	(8.9/14)	51.0	(5.1/10)	60.3	(9.6/16)
全国との差	▲ 2.4	(-0.3/12)	▲ 2.2	(-0.2/8)	▲ 2.1	(-0.3/14)	▲ 2.0	(-0.2/10)	▲ 0.9	(-0.1/16)
昨年度の全国との差	▲ 0.6	(-0.1/15)	▲ 0.8	(-0.1/9)	▲ 0.3	(-0.1/15)	▲ 0.3	(-0.1/11)	▲ 2.7	(-0.7/24)
昨年度と差の比較	▲ 1.8		▲ 1.4		▲ 1.8		▲ 1.7		+ 1.8	

※( )内の平均正答数と問題数欄は分子が平均正答数で、分母が問題数として記載。

※平均正答率…平均正答数を百分率で表示。国語A、国語B、算数A、算数B、理科ごとの平均正答率は、それぞれの平均正答数を設問数で割った値の百分率(概数)。

〔・北海道の平均正答率:国から提供されたデータをもとに北海道教育委員会が独自に算出した小数値  
・当別町の平均正答率:国から提供されたデータをもとに当別町教育委員会が独自に算出した小数値〕

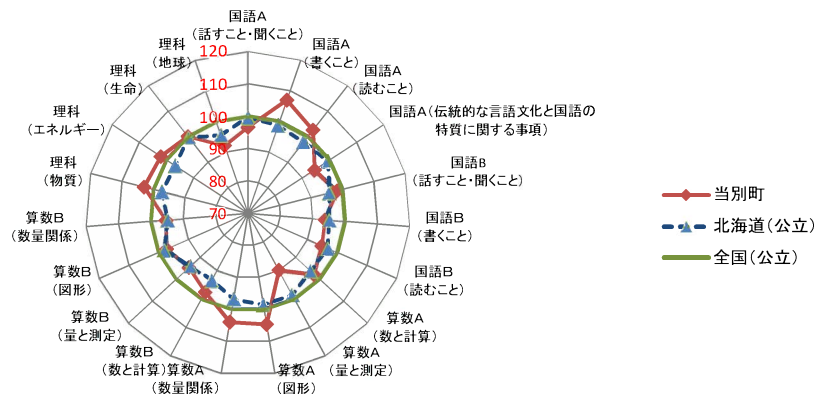


#### 2 全国平均を基準(100)とした場合の領域ごとの正答率

	国語A (話すこと・聞くこと)	国語A (書くこと)	国語A (読むこと)	国語A (伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項)	国語B (話すこと)	国語B (書くこと)	国語B (読むこと)	算数A (数と計算)	算数A (数と測定)	算数A (図形)	算数A (数量関係)	算数B (数と計算)	算数B (量と測定)	算数B (図形)	算数B (数量関係)	理科 (物質)	理科 (エネルギー)	理科 (生命)	理科 (地球)
問題数	1/12	1/12	2/12	8/12	3/8	5/8	2/8	5/14	4/14	3/14	5/14	6/10	4/10	2/10	5/10	4/16	4/16	4/16	6/16
当別町	96.6	106.9	102.6	94.5	98.3	93.9	94.9	97.8	90.0	104.7	104.0	97.6	94.7	97.3	95.3	103.0	102.1	100.1	92.1
北海道(公立)	99.4	98.8	98.0	99.4	96.0	95.2	96.9	96.3	98.6	98.6	96.8	93.5	94.1	98.2	94.9	97.3	96.8	99.9	95.6
全国(公立)	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100

教科の領域別に全国を100とした場合の状況をレーダーチャートで示したものの。

(当別町児童の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)

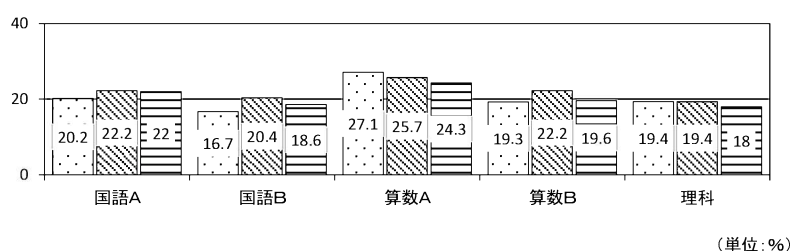


### 3 全国の下位約25%と同じ正答数の範囲に含まれる児童の割合

※理科の強は平成27年度  
実績との比較

全国の下位約25%と同じ正答数の範囲に含まれる児童の割合	国語A			国語B			算数A			算数B			理科		
	当別町	北海道	全国	当別町	北海道	全国	当別町	北海道	全国	当別町	北海道	全国	当別町	北海道	全国
	20.2%	22.2%	22.0%	16.7%	20.4%	18.6%	27.1%	25.7%	24.3%	19.3%	22.2%	19.6%	19.4%	19.4%	18.0%
	12問中7問以下			8問中3問以下			14問中6問以下			10問中3問以下			16問中7問以下		
全国との差	▲ 1.8	少ない		▲ 1.9	少ない		+ 2.8	多い		▲ 0.3	少ない		+ 1.4	多い	
昨年度の全国との差	+ 2.2	多い		▲ 0.5	少ない		+ 0.9	多い		+ 1.4	多い		+ 4.7	多い	
昨年度と差の比較	▲ 4.0	減少		▲ 1.4	減少		+ 1.9	増加		▲ 1.7	減少		▲ 3.3	減少	

□当別町 ▨北海道 ■全国



### 4 教科ごとの結果概要

#### 【国語】

- ① 国語Aでは、全国との差が、2.4ポイントと昨年度より1.8ポイント拡大した。国語Bでは、全国との差が、2.2ポイントと昨年度より1.4ポイント拡大した。
- ② 領域別では、国語Aでは、「書くこと」「読むこと」が全国よりも高い。国語Bでは、「話す」「聞く」「書く」「読む」領域で全国よりも低い傾向を示している。
- ③ 下位層の割合では、国語Aでは、全国より1.8ポイント低く、国語Bでは、全国より1.9ポイント低い。

#### 【算数】

- ① 算数A・Bともに、全国との差が、2.0ポイントと昨年度より1.8ポイント差が拡大した。
- ② 領域別では、算数Aの「図形」と「数量関係」で全国より高い。算数Bでは、「数と計算」「量と測定」「図形」「数量関係」で全国より低い傾向を示している。
- ③ 下位層の割合では、算数Aでは、全国より2.8ポイント高く、算数Bでは、全国より0.3ポイント低い。

#### 【理科】

- ① 全国との差が、0.9ポイントと縮まっている。
- ② 領域別では、「物質」「エネルギー」が、全国を上回り、「生命」が、全国と同値であった。「地球」が、全国より低い傾向にある。
- ③ 下位層の割合は、全国比で1.4ポイント多いが、前回調査との比較では、3.3ポイント減少している。

### 5 改善策

#### 国語

- 表現力、読解力の育成のために、一斉読書、グループ・ペア読書などの音読を積極的に取り入れる。
- 授業改善チームを活用して、読解力をつけさせる授業方法を研修させる。
- 授業の終末に「振り返り」を設定して、ノートに書かせる場面を多く取り入れる。

#### 算数

- 少人数、習熟度別を多く取り入れた授業方法を工夫し、理解の遅い子への支援を手厚く行う。
- 「主体的、対話的な深い学び」の視点を取り入れた授業改善を積極的に進める。
- 学習規律の徹底を図り、板書の工夫や、見やすいノート指導を行うなど学びの基礎基本の徹底化を図る。

#### 理科

- 一貫教育推進講師の実験の準備や後片付けなど、担任のサポートをしっかりといただけるので、質の高い授業がなされている。子どもたちからも、「理科の学習が楽しい」「理科の授業が分かりやすい」など高い評価を上げている。こうした体制を今後とも敷いていきたい。

#### 授業全般

- 授業力の向上のために、校内研修をしっかりと進めていくことが重要である。また、メンター研修を取り入れ、先輩教師が若手教師に授業、生徒指導などに助言ができる場を設けることも有効である。
- 「主体的、対話的な深い学び」の視点を取り入れた授業改善を積極的に進めることが重要である。

## 2) 学習状況調査（生活習慣・学習環境等）

### 【算数の学習に関して】

全国と比べ改善が必要な項目	当別町	全国	差
算数の勉強は好きですか (「当てはまる」と回答した割合の合計)	26.3	33.9	△7.6
算数の授業の内容はよく分かりますか (「当てはまる」と回答した割合の合計)	27.2	42.1	△14.9
算数の勉強は、大切だと思いますか (「当てはまる」と回答した割合の合計)	59.6	67.3	△7.7
算数の授業で新しい問題に出合ったとき、それを解いてみたいと思いますか (「当てはまる」と回答した割合)	32.5	44.4	△11.9
算数の問題の解き方が分からないときは、諦めずにいろいろな方法を考えますか (「当てはまる」と回答した割合の合計)	31.6	39.7	△8.1
算数の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考えますか (「当てはまる」と回答した割合の合計)	20.2	28.5	△8.3
算数の授業で問題を解くとき、もっと簡単に解く方法がないか考えますか (「当てはまる」と回答した割合の合計)	33.3	44.2	△10.9
算数の授業で問題の解き方や考え方がわかるようにノートに書いていますか (「当てはまる」と回答した割合の合計)	47.4	56.8	△9.4
算数の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか (「当てはまる」と回答した割合の合計)	57.9	65.5	△7.6

#### 特徴的な傾向

- ・算数の学習で、思考力に関わる事項が、全国より低い結果として出ている。まだまだ、授業が、知識偏重になっている。新学習指導要領において、「新たな情報と既存の知識を適切に組み合わせ、それらを活用しながら、問題を解決したり、考えを形成したり、新たな価値を創造していくための思考」が今後求められてくるので、アクティブラーニングの視点を取り入れた授業改善に取り組む必要がある。

【理科の学習に関して】

全国と比べ改善が必要な項目	当別町	全国	差
理科の勉強は好きですか (「当てはまる」と回答した割合の合計)	46.5	52.6	△6.1
理科の授業の内容はよく分かりますか (「当てはまる」と回答した割合の合計)	46.5	55.9	△9.4
理科の勉強は、大切だと思いますか (「当てはまる」と回答した割合の合計)	47.4	55.0	△7.6
理科の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考えますか (「当てはまる」と回答した割合の合計)	21.1	31.1	△10.0
理科の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか (「当てはまる」と回答した割合の合計)	25.4	39.9	△14.5
観察や実験を行うことは好きですか (「当てはまる」と回答した割合の合計)	59.6	68.8	△9.2
理科の授業では、自分の予想をもとに観察や実験の計画をたてていますか (「当てはまる」と回答した割合の合計)	27.2	37.2	△10.0
理科の授業を授業を受けた後に、習ったことに関わることで、もっと知りたいことが出てきました (「当てはまる」と回答した割合の合計)	20.2	30.0	△9.8
今、社会のことがらや自然のことがらに、「不思議だな」「面白いな」などと思いますか (「当てはまる」と回答した割合の合計)	35.1	42.7	△7.6

特徴的な傾向

- ・理科の学習で、思考力に関わる事項が、全国より低い結果として出ている。まだまだ、授業が、知識偏重になっている。新学習指導要領において、「新たな情報と既存の知識を適切に組み合わせ、それらを活用しながら、問題を解決したり、考えを形成したり、新たな価値を創造していくための思考」が今後求められてくるので、アクティブラーニングの視点を取り入れた授業改善に取り組む必要がある。

【家庭学習について】

全国と比べ優位な項目	当別町	全国	差
家で、学校の授業の予習・復習をしていますか (「している」と回答した割合の合計)	38.6	27.7	10.9
家で、学校の宿題をしていますか (「している」と回答した割合の合計)	89.5	87.9	1.6
家で予習・復習やテスト勉強などの自学自習において、教科書を使いながら学習していますか (「している」と回答した割合の合計)	48.2	37.5	10.7

【家庭学習に関して】

全国と比べ改善が必要な項目	当別町	全国	差
家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか (「している」と回答した割合の合計)	24.6	30.7	△6.1
学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師に教わっている時間も含む） (「2時間以上している」と回答した割合の合計)	13.1	29.3	△16.2

特徴的な傾向

- ・家庭での予習・復習が全国を大きく上回っており、家庭学習の取り組みが進んできていることがうかがえる。
- ・自分で計画を立てて学習する児童の割合が全国を下回り、自主的な学習態度が身に付けさせる指導と家庭にも協力を啓発する必要がある。
- ・家庭学習の時間が全国と比較して少ない傾向がみられる。
- ・放課後学習などを活用して、子どもたちの学習習慣づくりに努めている。その一方で、ゲーム、テレビ、DVD等に費やす時間が、全国より高い傾向にあることから、家庭での過ごし方を学校と家庭が連携して取り組みを進めていく必要がある。



【基本的な生活習慣について】

全国と比べ改善が必要な項目	当別町	全国	差
朝食を毎日食べていますか (「している」と回答した割合の合計)	78.9	84.8	△5.9
毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか (「している」と回答した割合の合計)	31.6	41.4	△9.8
毎日、同じくらいの時刻に起きていますか (「している」と回答した割合の合計)	43.9	59.9	△16.0

特徴的な傾向

- ・家庭内でのルールづくりをしっかりと行い、子どもたちに時間の管理ができるように啓発する必要がある。
- ・規則正しい就寝・起床の習慣が全国より低く、学校と保護者が連携し基本的な生活習慣づくりを行っていく必要がある。

【指導に関わる項目について】

全国と比べ改善が必要な項目	当別町	全国	差
5年生までに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいたと思いますか (「当てはまる」と回答した割合の合計)	19.3	29.1	△9.8
5年生までに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していたと思いますか (「当てはまる」と回答した割合の合計)	14.0	23.5	△9.5
先生は、あなたの良いところを認めてくれると思いますか (「当てはまる」と回答した割合の合計)	29.8	42.5	△12.7

特徴的な傾向

- ・学習に主体的に取り組んでいるところが、全国より低い傾向がみられる。課題解決に自分なりに見通しを持たせることが、主体性のある学び方につながるため、授業改善を図ることが重要である。
- ・教師が、子どもたちを認め、ほめることでより成長が加速されるので、子供たちの良さを積極的に認め、意欲の向上につなげていきたい。
- ・自分の考えを発表する場面で、資料や話し方の工夫で説得力を持たせるところが、全国より低い傾向がみられる。新学習指導要領において、学習基盤となる資質・能力に「思考力、判断力、表現力」の育成が重要視されることから、説得力ある発表ができるように授業改善を図る必要がある。

【その他について】

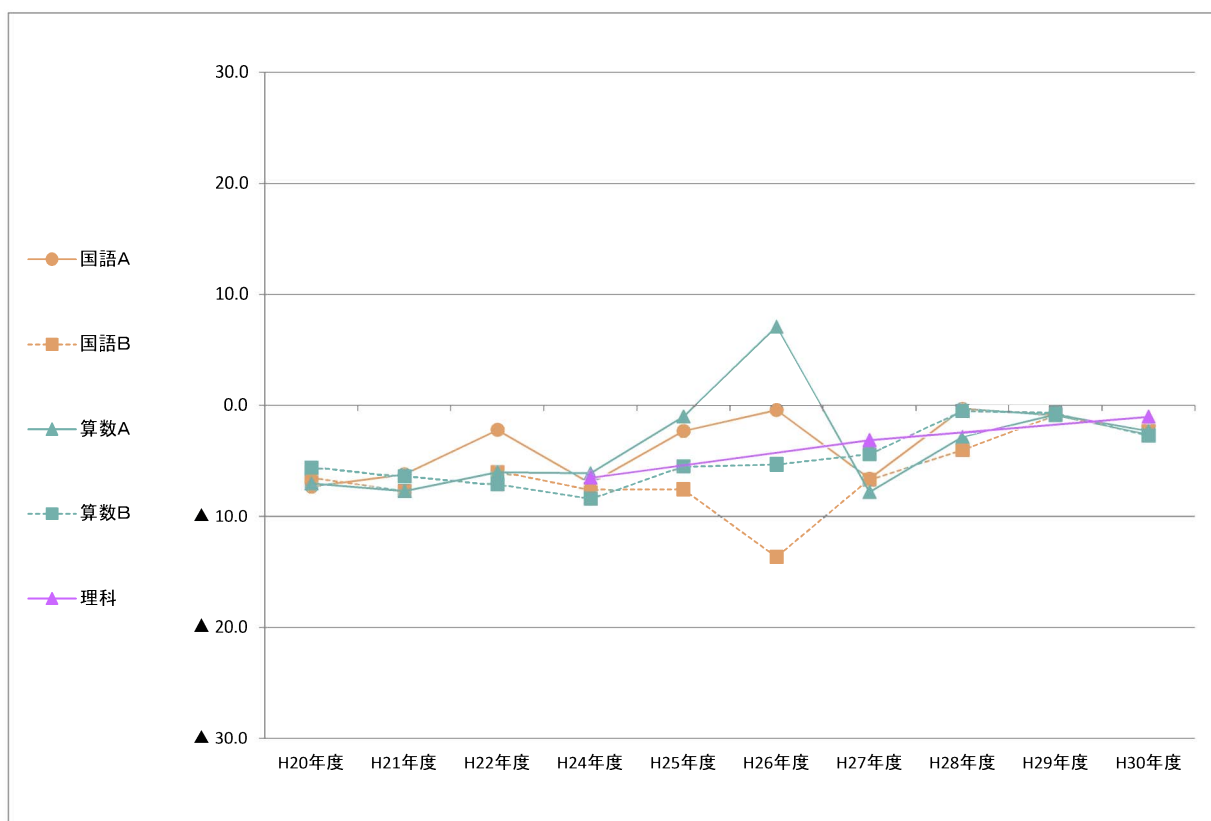
全国と比べ優位な項目	当別町	全国	差
いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか (「当てはまる」と回答した割合の合計)	92.1	85.9	6.2
今住んでいる地域の行事に参加していますか (「当てはまる」と回答した割合の合計)	46.5	35.9	10.6
地域社会などでボランティア活動に参加したことがありますか (「当てはまる」と回答した割合の合計)	37.7	36.1	1.6

全国と比べ改善が必要な項目	当別町	全国	差
自分には、良いところがあると思いますか (「当てはまる」と回答した割合の合計)	37.7	41.2	△3.5
将来の夢や目標を持っていますか (「当てはまる」と回答した割合の合計)	62.3	68.2	△5.9
学校のきまりを守っていますか (「当てはまる」と回答した割合の合計)	32.5	43.8	△11.3
人の役に立つ人間になりたいと思いますか (「当てはまる」と回答した割合の合計)	68.4	74.2	△5.8
地域や社会で起こっている問題や出来事に興味がありますか (「当てはまる」と回答した割合の合計)	14.0	26.8	△12.8
地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか (「当てはまる」と回答した割合の合計)	14.9	17.3	△2.4

特徴的な傾向

- ・「地域行事への参加」「地域のボランティア活動の参加」は全国よりも若干高い傾向にあるが、地域への関心や貢献意欲が全国より低い傾向にあるので、地域との関わりを一層深める取組が必要である。
- ・自己肯定感や将来の夢や希望に関しては、全国よりも若干低い傾向にあるので、子どもたちの良さを認め、進路指導もしっかり行い、「夢や希望」を持たせるようにしたい。

# 全国平均正答率との差の推移グラフ(小学校)



	教科	H20年度	H21年度	H22年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
全国平均 との正答率	国語A	▲7.3	▲6.2	▲2.2	▲7.0	▲2.3	▲0.4	▲6.6	▲0.3	▲0.9	▲2.6
	国語B	▲6.5	▲7.7	▲6.0	▲7.6	▲7.6	▲13.6	▲6.7	▲4.0	▲0.9	▲2.3
	算数A	▲7.0	▲7.7	▲6.0	▲6.1	▲1.0	7.1	▲7.8	▲2.8	▲0.8	▲2.3
	算数B	▲5.6	▲6.4	▲7.1	▲8.4	▲5.5	▲5.3	▲4.4	▲0.5	▲0.7	▲2.7
	理科				▲6.5			▲3.1			▲1.0
(全国平均 正答率) (国公立)	国語A	65.6	70.1	83.5	81.7	62.9	73.1	70.2	73.0	74.9	70.9
	国語B	50.7	50.7	78.0	55.8	49.6	55.6	65.6	58.0	57.6	54.8
	算数A	72.3	78.8	74.4	73.5	77.3	78.2	75.3	77.8	78.8	63.7
	算数B	51.8	55.0	49.6	59.2	58.6	58.4	45.2	47.4	46.2	51.7
	理科				61.1			61.0			60.4

### Ⅲ 中学校の分析

#### 1) 学力調査

##### 1 教科ごとの平均正答率と平均正答数

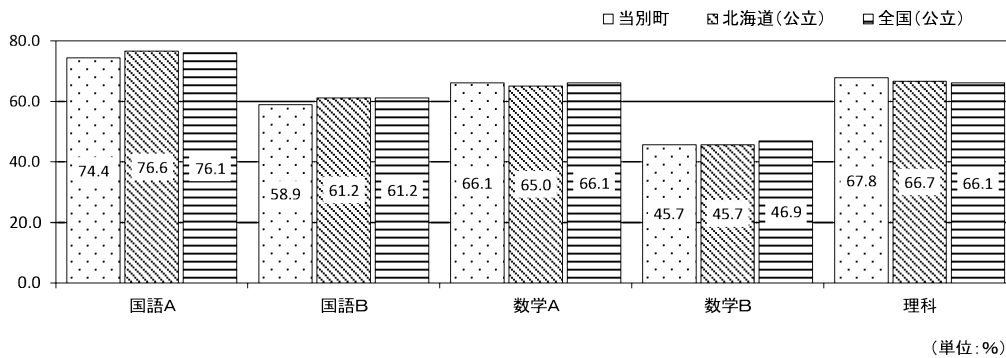
※理科の差は平成27年度実績との比較

	国語A		国語B		数学A		数学B		理科	
	平均正答率 (%)	平均正答数 / 問題数	平均正答率 (%)	平均正答数 / 問題数	平均正答率 (%)	平均正答数 / 問題数	平均正答率 (%)	平均正答数 / 問題数	平均正答率 (%)	平均正答数 / 問題数
当別町	74.4	(23.8/32)	58.9	(5.3/9)	66.1	(23.8/36)	45.7	(6.4/14)	67.8	(18.3/27)
北海道(公立)	76.6	(24.5/32)	61.2	(5.5/9)	65.0	(23.4/36)	45.7	(6.4/14)	66.7	(18/27)
全国(公立)	76.1	(24.3/32)	61.2	(5.5/9)	66.1	(23.8/36)	46.9	(6.6/14)	66.1	(17.9/27)
全国との差	▲ 1.7	(-0.5/32)	▲ 2.3	(-0.2/9)	0.0	(0/36)	▲ 1.2	(-0.2/14)	+ 1.7	(0.4/27)
昨年度の全国との差	▲ 3.3	(-1.1/32)	▲ 6.2	(-0.3/9)	▲ 0.7	(-0.3/36)	+ 0.8	(0.1/15)	▲ 1.0	(-0.3/25)
昨年度と差の比較	+ 1.6		+ 3.9		+ 0.7		▲ 2.0		+ 2.7	

※( )内の平均正答数と問題数欄は分子が平均正答数で、分母が問題数として記載。

※平均正答率…平均正答数を百分率で表示。国語A、国語B、数学A、数学B、理科ごとの平均正答率は、それぞれの平均正答数を設問数で割った値の百分率(概数)。

[ 北海道の平均正答率:国から提供されたデータをもとに北海道教育委員会が独自に算出した小数値  
当別町の平均正答率:国から提供されたデータをもとに当別町教育委員会が独自に算出した小数値 ]

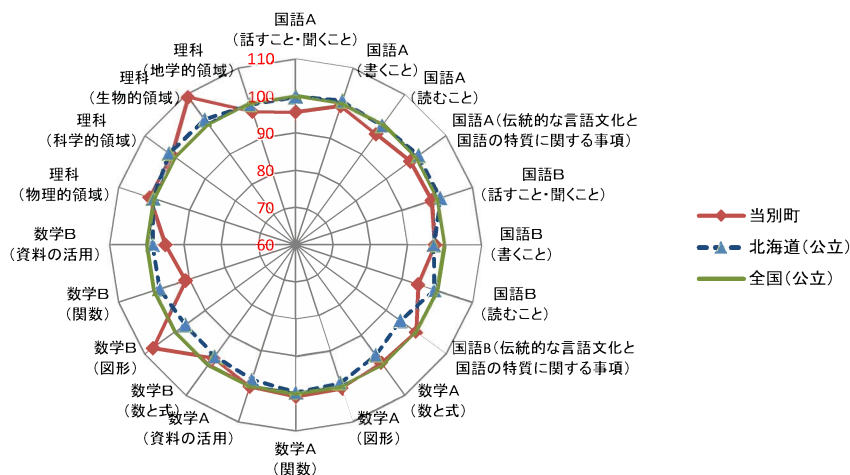


##### 2 全国平均を基準(100)とした場合の領域ごとの正答率

	国語A (話すこと・聞くこと)	国語A (書くこと)	国語A (読むこと)	国語A (伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項)	国語B (話すこと)	国語B (書くこと)	国語B (読むこと)	国語B (伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項)	数学A (数と式)	数学A (図形)	数学A (関数)	数学A (資料の活用)	数学B (数と式)	数学B (図形)	数学B (関数)	数学B (資料の活用)	理科 (物理的領域)	理科 (科学的領域)	理科 (生物的領域)	理科 (地学的領域)
問題数	3/32	4/32	4/32	22/32	3/9	2/9	6/9	1/9	12/36	12/36	8/36	4/36	4/14	3/14	3/14	4/14	7/27	8/27	6/27	7/27
当別町	95.7	99.2	96.7	98.0	98.4	97.4	94.6	100.0	99.3	100.6	100.7	100.0	97.7	107.3	91.1	95.0	101.2	101.1	109.1	97.6
北海道(公立)	99.9	100.7	99.6	100.8	100.9	97.1	99.3	94.7	96.6	99.0	99.6	98.1	97.1	96.6	98.5	98.4	100.3	102.0	101.5	99.7
全国(公立)	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100

教科の領域別に全国を100とした場合の状況をレーダーチャートで示したもの。

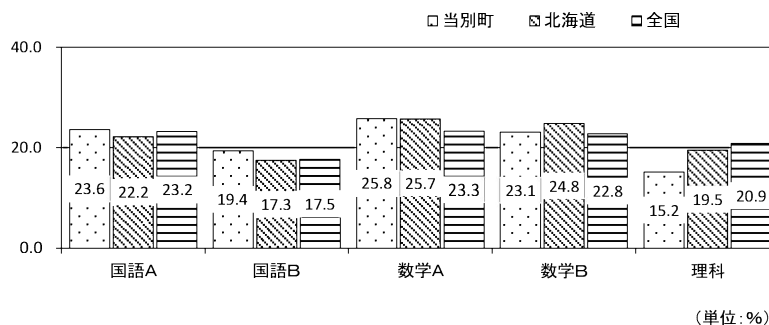
(当別町生徒の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



### 3 全国の下位約25%と同じ正答数の範囲に含まれる生徒の割合

※理科の強は平成27年度  
実績との比較

全国の下位約25%と同じ正答数の範囲に含まれる生徒の割合	国語A			国語B			数学A			数学B			理科		
	当別町	北海道	全国	当別町	北海道	全国	当別町	北海道	全国	当別町	北海道	全国	当別町	北海道	全国
	23.6%	22.2%	23.2%	19.4%	17.3%	17.5%	25.8%	25.7%	23.3%	23.1%	24.8%	22.8%	15.2%	19.5%	20.9%
	32問中22問以下			9問中4問以下			36問中17問以下			14問中4問以下			27問中15問以下		
全国との差	+ 0.4	多い		+ 1.9	多い		+ 2.5	多い		+ 0.3	多い		▲ 5.7	少ない	
昨年度の全国との差	+ 7.4	多い		+ 11.8	多い		▲ 1.2	少ない		▲ 2.6	少ない		▲ 0.7	少ない	
昨年度と差の比較	▲ 7.0	減少		▲ 9.9	減少		+ 3.7	増加		+ 2.9	増加		▲ 5.0	減少	



### 4 教科ごとの結果概要

#### 【国語】

- ① 国語Aでは、全国との差が、1.7ポイントと昨年度の3.3ポイントから縮まっている。国語Bでは、全国との差が、2.3ポイントと昨年度の6.2ポイントから3.9ポイント縮まっている。
- ② 領域別では、国語A・Bともに全国より若干低い傾向を示している。
- ③ 下位層の割合は、国語A・Bとも全国より多い傾向だが、昨年度より国語Aは、7ポイント、国語Bでは9.9ポイント減少している。

#### 【数学】

- ① 数学Aは、全国と同値となり、数学Bは、全国より1.2ポイント低い。
- ② 領域別では、数学Aで「図形」「関数」が全国より高い傾向を示している。数学Bでは、「図形」が、全国より高いが、「関数」「資料の活用」が全国より低い傾向を示している。
- ③ 下位層の割合は、数学A・Bともに全国より多い傾向を示し、昨年度と比べても増加しているのが課題である。

#### 【理科】

- ① 理科は、全国より1.7ポイント高く、唯一全国を上回る教科である。
- ② 領域別では、「生物的領域」が全国より9ポイント高い値を示している。
- ③ 下位層の割合は、全国より5.7ポイント低く、前回と比べても5ポイント減少している。

### 5 改善策

- 小中一貫教育の推進により、学習規律の定着が進み、落ち着いた雰囲気での学習ができるようになっていく。今後より精度を上げていきたい。
- 小学校と中学校で研究テーマを統一し、9年間で育てる児童・生徒の資質・能力の共有化が進んできた。今後は、全国学力・学習状況調査の結果について情報共有し、学校改善プランに反映できるようにしていきたい。
- 「主体的、対話的で深い学び」の視点を取り入れた授業改善に積極的に取り組ませる。

## 2) 学習状況調査（生活習慣・学習環境等）

### 【数学の学習について】

全国と比べ優位な項目	当別町	全国	差
数学の勉強は好きですか (「当てはまる」と回答した割合の合計)	57.7	53.9	3.8
数学の授業の内容はよく分かりますか (「当てはまる」と回答した割合の合計)	28.8	28.2	0.6

### 【数学の学習に関して】

全国と比べ改善が必要な項目	当別町	全国	差
数学の勉強は、大切だと思いますか (「当てはまる」と回答した割合の合計)	33.1	45.9	△12.8
数学ができるようになりたいと思いますか (「当てはまる」と回答した割合)	62.7	73.4	△10.7
数学の問題の解き方が分からないときは、諦めずにいろいろな方法を考えますか (「当てはまる」と回答した割合の合計)	27.1	29.1	△2.0
数学の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考えますか (「当てはまる」と回答した割合の合計)	26.3	38.7	△12.4
数学の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つ立つと思いますか (「当てはまる」と回答した割合の合計)	19.5	34.9	△15.4
数学の授業で問題を解くとき、もっと簡単に解く方法がないか考えますか (「当てはまる」と回答した割合の合計)	31.4	33.4	△2.0
数学の授業で公式やきまりを習うとき、その根拠を理解するようにしていますか (「当てはまる」と回答した割合の合計)	27.1	30.9	△3.8
数学の授業で問題の解き方や考え方がわかるようにノートに書いていますか (「当てはまる」と回答した割合の合計)	33.9	45.6	△11.7

### 特徴的な傾向

- ・数学で、主体的な学習に関わる事項が、全国より低い結果として出ている。新学習指導要領において、「新たな情報と既存の知識を適切に組み合わせ、それらを活用しながら、問題を解決したり、考えを形成したり、新たな価値を創造していくための思考」が今後重要になってくるので、アクティブラーニングの視点を取り入れた授業改善に積極的に取り組む必要がある。

【理科の学習について】

全国と比べ優位な項目	当別町	全国	差
理科の勉強は好きですか (「当てはまる」と回答した割合の合計)	44.9	30.0	14.9
理科の授業の内容はよくわかりますか (「当てはまる」と回答した割合の合計)	36.4	26.6	9.8
自然の中で遊んだことや自然観察をしたことがありますか (「当てはまる」と回答した割合の合計)	60.2	49.6	10.6
理科の授業では、理科室で観察や実験をどのくらい行いましたか 「週1回以上」と回答した割合の合計)	73.7	40.7	33.0
観察や実験を行うことは好きですか (「当てはまる」と回答した割合の合計)	67.8	52.8	15.0
理科の授業で、観察や実験の結果をもとに考察していますか (「当てはまる」と回答した割合の合計)	38.1	31.7	6.4

【理科の学習に関して】

全国と比べ改善が必要な項目	当別町	全国	差
理科の勉強は大切だと思いますか (「当てはまる」と回答した割合の合計)	30.5	33.2	△2.7
理科の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考えますか (「当てはまる」と回答した割合の合計)	46.5	55.9	△9.4
理科の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか (「当てはまる」と回答した割合の合計)	47.4	55.0	△7.6
理科の授業で、観察や実験の進め方や考え方が間違っていないか振り返って考えていますか (「当てはまる」と回答した割合の合計)	19.5	20.7	△1.2

特徴的な傾向

- ・理科の学習で、「理科の勉強が好き」「観察や実験」に関わる事項が、全国より高い数値が出ている。授業が、「観察や実験」を多く取り入れていることが、楽しく、わかる理科にしている要因と考えられる。
- ・新学習指導要領において、「新たな情報と既存の知識を適切に組み合わせ、それらを活用しながら、問題を解決したり、考えを形成したり、新たな価値を創造していくための思考」が今後重要視されるので、アクティブラーニングの視点を取り入れた理科の授業が他教科への広がりにつなげていく必要がある。

【家庭学習について】

全国と比べ優位な項目	当別町	全国	差
家で、学校の宿題をしていますか (「している」と回答した割合の合計)	70.3	68.5	1.8
家で、学校の授業の予習・復習をしていますか (「している」と回答した割合の合計)	24.6	18.2	6.4
家で予習・復習やテスト勉強などの自学自習において、教科書を使いながら学習していますか (「している」と回答した割合の合計)	37.3	35.1	2.2

【家庭学習に関して】

全国と比べ改善が必要な項目	当別町	全国	差
家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか (「している」と回答した割合の合計)	15.3	16.6	△1.3
学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師に教わっている時間も含む） (「2時間以上している」と回答した割合の合計)	26.2	36.4	△10.2

特徴的な傾向

- ・家庭での予習・復習が全国を大きく上回っており、家庭学習の取り組みが小学校から継続して進んできていることがうかがえる。
- ・自分で計画を立てて学習する児童の割合が全国を下回り、自主的な学習態度が身に付けさせる指導を強化し、併せて家庭にも協力を啓発する必要がある。
- ・家庭学習の時間が全国と比較して少ない傾向が続いている。その一方で、ゲーム、テレビ、DVD等に費やす時間が、全国より高い傾向にあることから、家庭学習の時間が増えるように、学校と家庭が連携して取り組みを強化していく必要がある。



【基本的な生活習慣について】

全国と比べ改善が必要な項目	当別町	全国	差
朝食を毎日食べていますか (「している」と回答した割合の合計)	74.6	79.7	△5.1
毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか (「している」と回答した割合の合計)	26.3	35.6	△9.3
毎日、同じくらいの時刻に起きていますか (「している」と回答した割合の合計)	54.2	55.9	△1.7

特徴的な傾向

- ・家庭内でのルールづくりをしっかりと行い、生徒が、時間を自己管理ができるように啓発する必要がある。
- ・「朝食を毎日食べている」割合が全国より低く、学校と保護者が連携して基本的な食生活習慣づくりを行っていく必要がある。

【指導に関わる項目について】

全国と比べ優位な項目	当別町	全国	差
1、2年生までに受けた授業や課外授業で地域のことを調べたり、 地域の人と関わったりする機会があったと思いますか (「当てはまる」と回答した割合の合計)	39.8	31.6	8.2
生徒の間で話し合う活動を通して、自分の考えを深めたり、広げたり することができていると思いますか (「そう思う」と回答した割合の合計)	36.4	32.4	4.0

【指導に関わる項目について】

全国と比べ改善が必要な項目	当別町	全国	差
先生は、あなたの良いところを認めてくれると思いますか (「当てはまる」と回答した割合の合計)	28.8	32.5	△3.7
将来の夢や目標を持っていますか (「当てはまる」と回答した割合の合計)	44.9	45.3	△0.4
1、2年生のときに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で 考え、自分から取り組んでいたと思いますか (「当てはまる」と回答した割合の合計)	21.2	26.3	△5.1
1、2年生のときに受けた授業では、自分の考えを発表する機会では、 自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していた と思いますか (「当てはまる」と回答した割合の合計)	15.3	16.6	△1.3

特徴的な傾向

- ・学習に主体的に取り組んでいるところが、全国より低い傾向がみられる。課題解決に自分なりに見通しを持たせることが、主体性のある学び方につながるので、授業改善を図ることが重要である。
- ・教師が、生徒を認め、ほめることでより成長が加速されるので、生徒一人ひとりの良さを積極的に認め、意欲の向上につなげていきたい。
- ・自分の考えを発表する場面で、資料や話し方の工夫で説得力を持たせるところが、全国より低い傾向がみられる。新学習指導要領において、学習基盤となる資質・能力に「思考力、判断力、表現力」の育成が重要視されることから、説得力ある発表ができるように授業改善を図る必要がある。

【その他について】

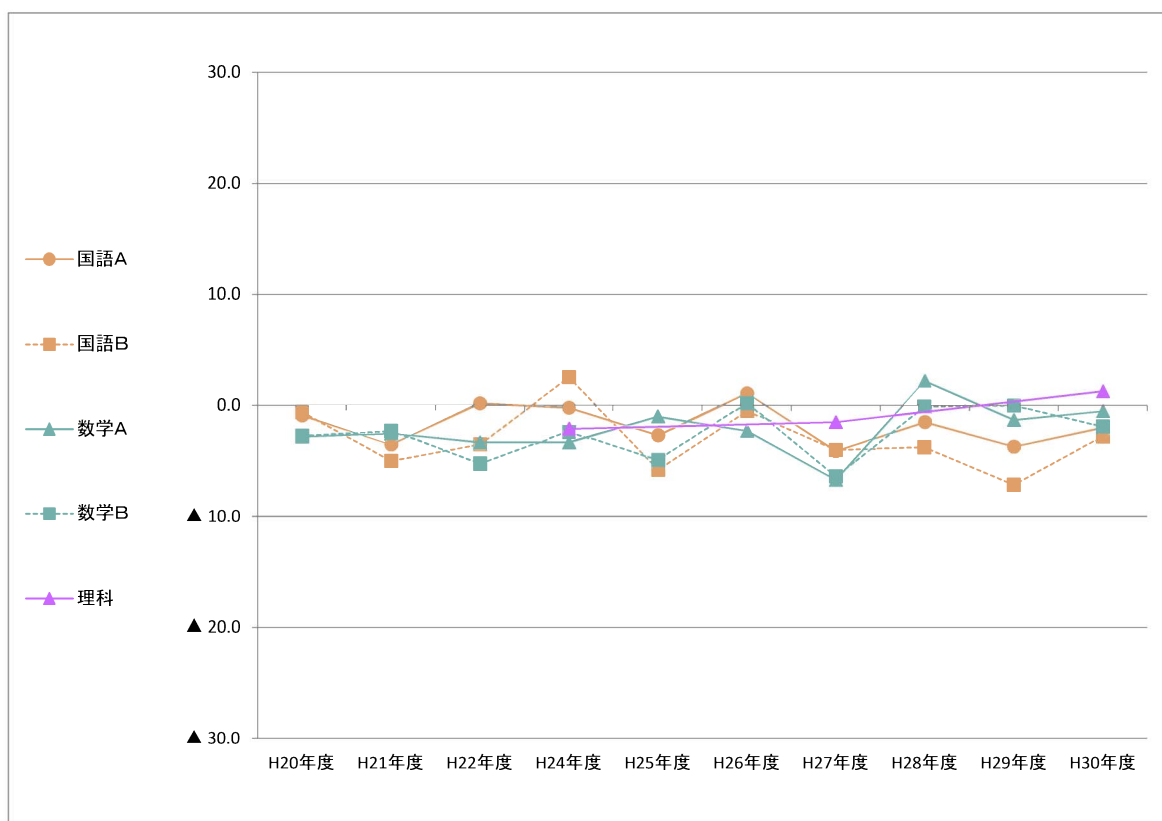
全国と比べ優位な項目	当別町	全国	差
いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか (「当てはまる」と回答した割合の合計)	83.9	80.7	3.2
人の役に立つ人間になりたいと思いますか (「当てはまる」と回答した割合の合計)	75.4	70.7	4.7
今住んでいる地域の行事に参加していますか (「当てはまる」と回答した割合の合計)	22.0	18.6	3.4

全国と比べ改善が必要な項目	当別町	全国	差
自分には、良いところがあると思いますか (「当てはまる」と回答した割合の合計)	32.2	33.7	△1.5
学校の規則を守っていますか (「当てはまる」と回答した割合の合計)	61.0	63.4	△2.4
地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がありますか (「当てはまる」と回答した割合の合計)	11.0	20.0	△9.0
地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか (「当てはまる」と回答した割合の合計)	5.1	10.6	△5.5

特徴的な傾向

- ・「地域行事への参加」の割合は、全国よりも若干高い傾向にあるが、地域への関心や貢献意欲が全国より低い傾向にあるので、地域との関わりを一層深める取組が必要である。
- ・自己肯定感や将来の夢や希望に関しては、全国よりも若干低い傾向にあるので、子どもたちの良さを認め、進路指導もしっかり行い、生徒たちにしっかりと「夢や希望」を持たせるように指導していきたい。

# 全国平均正答率との差の推移グラフ(中学校)



	教科	H20年度	H21年度	H22年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
全国平均 との正答率	国語A	▲ 0.9	▲ 3.5	0.2	▲ 0.2	▲ 2.7	1.1	▲ 4.1	▲ 1.5	▲ 3.7	▲ 2.0
	国語B	▲ 0.6	▲ 5.0	▲ 3.5	2.5	▲ 5.8	▲ 0.5	▲ 4.0	▲ 3.8	▲ 7.1	▲ 2.8
	数学A	▲ 2.8	▲ 2.5	▲ 3.3	▲ 3.3	▲ 1.0	▲ 2.3	▲ 6.7	2.2	▲ 1.3	▲ 0.5
	数学B	▲ 2.7	▲ 2.3	▲ 5.2	▲ 2.4	▲ 4.9	0.2	▲ 6.4	▲ 0.1	0.0	▲ 1.9
	理科				▲ 2.1			▲ 1.5			1.3
(国 公 私) 全国平均 正答率	国語A	74.1	77.4	76.1	76.1	76.8	79.8	76.2	76.0	77.8	76.4
	国語B	61.6	75.0	66.5	64.2	68.0	51.6	66.2	67.1	72.7	61.7
	数学A	63.9	63.4	66.1	63.6	64.3	67.9	65.0	62.8	65.2	66.6
	数学B	50.0	57.6	45.2	51.1	42.4	60.5	42.4	44.8	48.7	47.6
	理科				52.1			53.5			66.5

#### IV 当別町学力向上プラン

# 当別町学力向上プラン

【目標】 全国学力・学習状況調査で全教科全国平均以上をめざす

### 【現状】

□小学校では、国語 A、算数 A、国語 B で改善がみられるものの、平均正答率で全国平均まで到達することができない状態である。

□中学校では、数学 A と理科が全国平均を上回り、その他の教科は平均正答率で全国平均まで到達することができない状態である。

### 【具体的な方策】

#### 学 校

- 「主体的、対話的で深い学び」のアクティブラーニングの視点を取り入れた入れた授業改善
- 指導内容の連続性や系統性を重視した教育課程の工夫改善
- 学校改善プランの着実な実践
- 一貫教育推進講師の効果的な活用
- 家庭学習の定着と内容の工夫
- 学習規律の徹底を柱とした支持的風土づくり
- 下位層の底上げのために、計画的な少人数・習熟度別指導
- 小中の研究計画を9年間見通し、合同研究・合同研修の実施
- メンターを取り入れた校内研修の実施

#### 教育委員会

- 「主体的、対話的で深い学び」のアクティブラーニングの視点を取り入れた入れた授業改善に向けた指導・助言
- 小中一貫教育の推進
- 小中一貫教育推進講師の配置
- 小中の乗り入れ授業の指導
- ICT機器の整備と活用
- 指導工夫改善に関わる指導
- 放課後学習会や土曜学習会の充実
- 長期休業中の学習支援の充実
- 読書活動の充実
- コミュニティ・スクールの活用・支援
- 教師の資質向上のための研修機会の充実
- 業務の効率化に有効な校務支援システムの活用

学ぶ力の  
向  
上

### 【学校における学力向上の年間計画】

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
実施	←改善プランの実践→			結果分析	←改善プランの見直し・実践→						

